

チルローラ WR/WRS型

TIRROLLER

取扱説明書

- 正しくこの機器をお使いいただくために
ご使用前に必ずよくお読みください。
- この取扱説明書は必要な時にすぐに見ることが
できるように大切に保管してください。

目 次

1. チルローラをご使用になる前に P 1
2. チルローラ本体各部名称と外形寸法図 P 2~P 3
3. 仕 様 表 P 4
4. 使用方法と使用するうえでの注意事項 P 4~P 7
5. チルローラの保管について P 7

1.チルローラをご使用になる前に

この度は、チルローラ（TIRROLLER）をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

ご購入いただきましたチルローラは、ウレタンローラ採用により、床面（路面）の損傷を最小限にとどめ、優れた防振性をもち、作業者・段取時間・移動時間を、従来よりも短縮できる小型軽量タイプのローラで、重量物運搬などの種々の用途にご使用いただけます。

当製品の安全対策には十分気をつけておりますが、お客様がより安全に、また製品をフルにご活用いただくため、そして末永くご愛用いただくためにも、このチルローラ取扱説明書を熟読され、最大能力や注意事項を守り、正しくご使用ください。

注意事項などの前には—————



（使用方法を誤った場合、死亡または重傷を受ける危険性がある。）



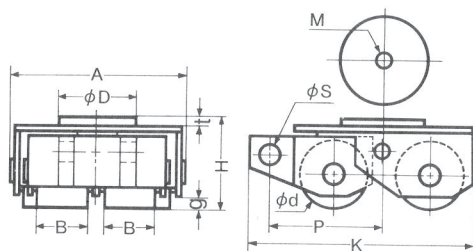
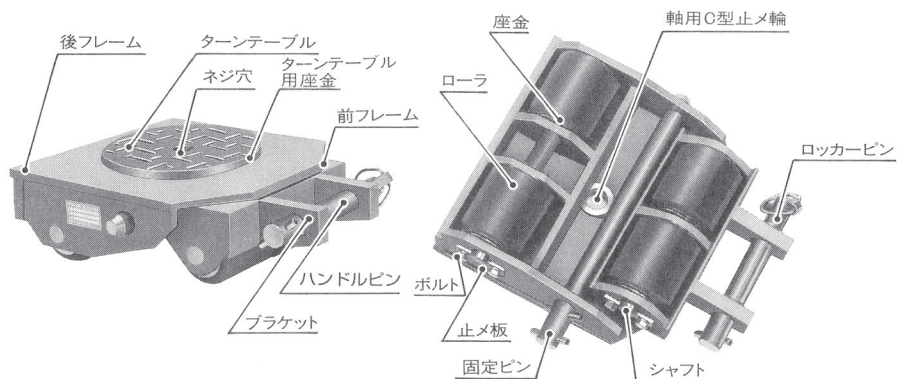
（使用方法を誤った場合、人体への傷害、物的損害を受ける危険性がある。）

を表示区分いたしております。

ただし、**注意**表示であっても、ご使用方法によっては、**危険**と同様の結果が発生する恐れがありますので、いずれについても必ずお守りください。

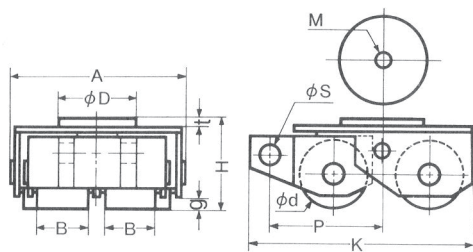
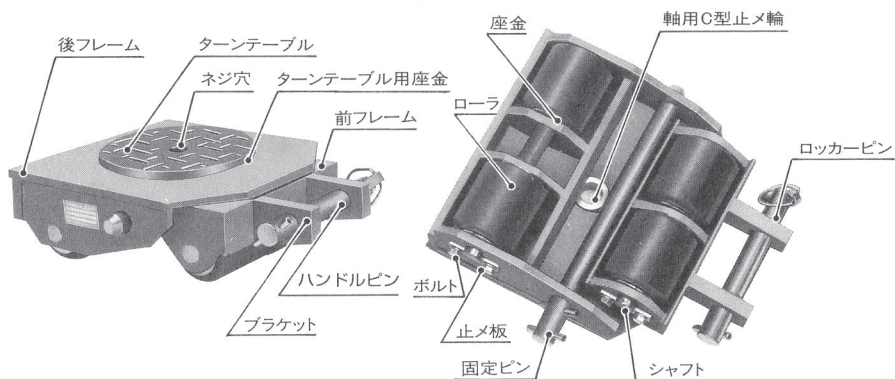
2. チルローラ本体各部名称と外形寸法図

■WR型



機種	WR-2UA	WR-3UA	WR-5UA	WR-8UA
A	267	293	335	395
K	342	351	411	478
P	159	159	184	214
H	107	111	137	161
g	12	16	28	42
φS	26	26	26	31
φd	65	75	100	120
B	75	90	110	140
φD	180	180	240	240
t	9	9	9	9
M	M20	M20	M20	M20

■WRS型



機種	WRS-5U	WRS-8U	WRS-10U
A	284	340	364
K	358	410	436
P	159	189	189
H	115	140	145
g	15	20	25
φS	26	31	31
φd	75	95	105
B	95	110	120
φD	180	240	240
t	9	9	9
M	M20	M20	M20

3.仕様表

形 式		WR型				WRS型		
機 種		WR-2UA	WR-3UA	WR-5UA	WR-8UA	WRS-5U	WRS-8U	WRS-10U
最大能力 (t)		2	3	5	8	5	8	10
自 重 (kg)		18	21	37	58	25	42	53
走行抵抗	鋼板路面	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
	コンクリート路面	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07
最大能力時 静的旋回 トルク	鋼板路面	19	30	50	80	40	64	80
	コンクリート路面	22	35	57	92	48	77	96
最大能力時 動的旋回 トルク	鋼板路面	12	19	31	49	25	40	50
	コンクリート路面	14	23	37	59	30	48	60

危険 当製品は、最大能力より大きな荷重をかけて使用しないでください。また、最大能力には、重量物移動時に発生する動的荷重も考慮に入れてください。

4.使用方法と使用するうえでの注意事項

危険 チルローラが届きましたら、ケースの表示および銘板が、ご注文された内容と一致しているか、また輸送中の事故などで製品に変形や損傷がないかを、必ず確認してください。

注意 チルローラを取扱う場合は、より安全のために手袋を着用してください。

①設置について

《路面設置》

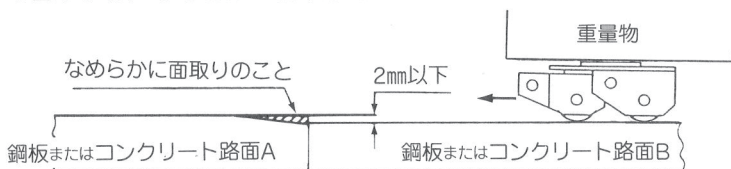
危険 チルローラを使用する路面は、なめらかなコンクリート路面か、鋼板路面を使用してください。コンクリート路面が軟弱で直接走行させると、傷・変形するなどの恐れがあります。その場合には、鋼板を敷くようにしてください。

危険 コンクリート層は、コンクリート耐地圧の関係上150mm以上の路面で使用してください。

危険 ローラにウレタンローラを使用しており、路面の損傷を最小限に防ぎ、スムーズに移動できますが、路面上に小石・切粉などがある場合には、ローラに傷を付けることがありますので、なめらかな路面で使用してください。

危険 走行路面が軟弱な場合は、鋼板などで補強してから使用してください。

危険 走行路面に段差があると、チルローラの機能に支障をきたしますので、下の図のようになめらかに面取りをしてください。



走行路面の段差は2mm以下にしてください。

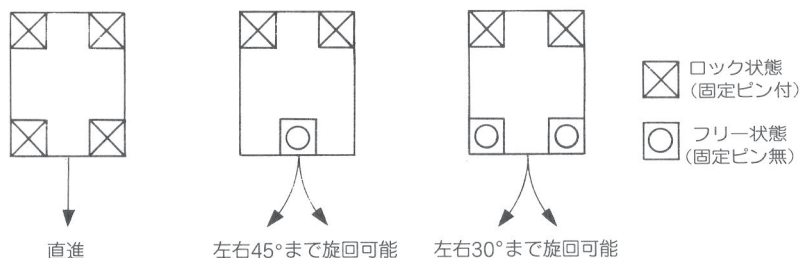
《本体設置》

危険 チルローラは、ターンテーブルの穴を用いて、ボルトにて確実に移動物へ結合してください。また、路面の凹凸や段差では予想以上の偏荷重が本体にかかる恐れがありますので、オーバーロードはしないでください。

危険 チルローラに作用する荷重をターンテーブル全面で支え、ターンテーブルに凸部が当たる場合は、当て物を用いて荷重が一点に集中しないように設置すると共に、各チルローラに均等に荷重が作用する位置(前後左右のバランスが安定する位置)に十分気をつけて配置してください。また、方向転換用のハンドルを使用される場合は、舵取操作が容易にできるように配置してください。

危険 路面状態により、チルローラに予想以上の偏荷重がかかる場合がありますので、移動物の総重量に対して1.5~2.0倍の安全率をみて機種選定をしてください。

チルローラを下の図のように各機種を組み合わせることにより、直進および旋回を行うことができます。



②操作について

危険

チルローラの移動速度は、必ず5m/min以下で行ってください。

危険

方向転換を行う場合は、チルローラ専用ハンドル（オプション品）を使用してください。

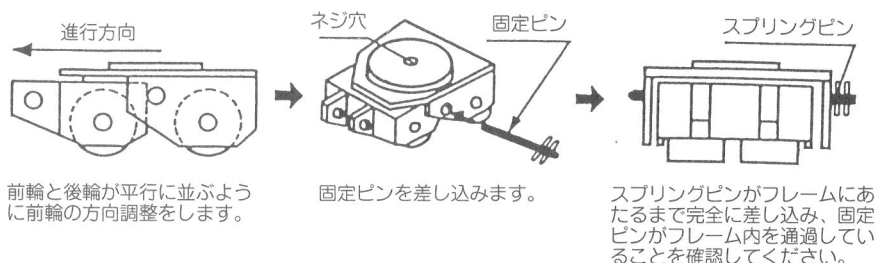
方向転換において、重い場合は無理せずに、必ずジャッキアップを行ってください。

危険

固定ピンを外した状態で移動する場合は、ブラケットに必ずチルローラ専用ハンドルを差込み、必ず舵取りを行ってください。

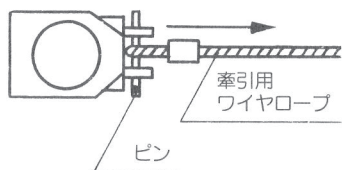
チルローラWR型・WRS型は、前輪を左右45°まで切替えることができます。

チルローラWR型・WRS型を直進専用として使用する場合は、下図の様に前フレーム後部の穴に、固定ピンを差し込んでください。

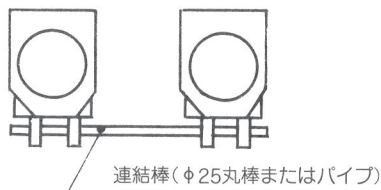


ブラケットは、下の図のように使用できます。

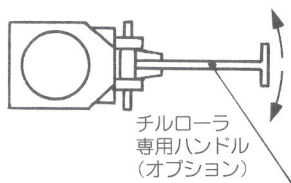
■牽引(A)



■連結(B)



■方向転換(C)



(A)ピンに直接ワイヤロープを連結することにより、チルローラを牽引できます。

(B)直進時には、横方向のチルローラと丸棒(φ25)または、パイプで連結することができ、より蛇行を防止します。

(C)ピンに専用ハンドルを連結するだけで旋回できます。

危険 急発進・急旋回などの無理な操作はしないでください。

注意 化学薬品のある場所・高温の場所では発錆やローラを傷める原因となりますので使用しないでください。

危険 故障と思われましたら、直ちに使用を中止し、当社にご相談ください。決して分解点検はしないでください。

危険 チルローラの牽引には、下記の式で求められる力が必要です。

$$\text{牽引力} = \text{荷重} \times \text{走行抵抗} (a/r)$$

走行抵抗 (a/r) は4ページの仕様表をごらんください。

5. チルローラの保管について

注意 ご使用後は、泥や水分をよく取り、軸部にはモータオイル#30を注油して保管してください。

注意 雨露・湿気・化学薬品などは、錆やローラをいためる原因になりますので、避けて屋内に保管してください。屋外の場合は、シートなどをかけてください。

注意 チルローラを引きずったり、高い所から投げたりしないでください。

危険 本体に変形・破損がないか、またローラが正常に動くかを点検してください。

危険 最低でも、1年に1回以上（長期間連続使用または長期間連続未使用のような特別の場合は、使用頻度に合わせて）は、当社でオーバーホールを受けていただきますようお願いいたします。

危険 故障と思われた場合は、直ちに当社にご相談ください。決して分解点検はしないでください。



Move & Challenge

カツヤマキカイ株式会社

www.katsuyama.co.jp E-mail: info@katsuyama.co.jp

本社 〒650-0048 神戸市中央区神戸空港3番地12 TEL.078-306-3610 FAX.078-306-3641
神戸産業棟 〒650-0048 神戸市中央区神戸空港3番地13 TEL.078-306-3663 FAX.078-306-3671

製品や修理等に関するお問い合わせはフリーダイヤルをご利用ください。☎ 0120-011214